

H28年度「桂島緑地未来プロジェクト」植物保護班 学習会 記録

作成：桂市民センター 小坂

1.実施日時／場所・・・10月25日(火) 10:00～12:30／桂島緑地公園

2.講師：太白山自然観察の森 自然観察センター 館長 早坂 徹 氏

3.出席：遠藤 美穂子 氏(植物保護班 班長)、吉田 和子 氏、桂市民センター(小坂)

4.内容

①植物保護班活動記録の作成方法(添付資料参照)

(1)自生植物観察結果の記録方法

- ・調査票の記入

(調査者名、日時、天候、風の強さ、場所、環境、種名、確認、花・実の有無、本数)

- ・植物季節の作成
(種名、生態、開花初確認日、開花状況の記録)
- ・植物目録の作成

(2)記録様式や記入の具体的な記録方法

- ・調査票、植物季節の様式は添付資料に倣って作成する
- ・植物目録は、植物保護班アドバイザー 阿部氏の目録に追加していく

(3)観察対象植物の選定方法

- ・植物季節を公園全体で記録する(開花状況)
⇒植物保護の囲いの中の植物を中心に実施
- ・力を入れて観察する植物
⇒①ギンラン、②クルマユリ、③イチヤクソウ、④ヒメシャガ、⑤シュンラン
(調査票の記入+保護作業を記録)

②自生植物と保護活動

(1)ボードプラザ下フェンス内(カタクリ自生地)

- ・冬場に笹を刈っておく(陽が入るように明るい雑木林にすると良い)
- ・フェンス側の枯れ枝を片付けると、植物が生えてくる
- ・ネズミモチは伐採した方が良い

(2) 東街区東屋周辺

- 東屋の後ろ斜面・・・笹が無ければカタクリやショウジョウバカマも増える環境
- キクザキイチゲ・・・水源の脇など、湿った所が良い

(3) 雑木林周辺

- 池の水際は笹があった方が良いが、散歩道脇の笹は刈ると植物が生えてくる。刈った枝は集めて、散歩道脇に置かないようにすると見栄えが良い。
- サルトリイバラ⇒実が成らないのは、オスの可能性がある。花を見て判別。
- ギンラン⇒自然に落ちてくる落ち葉が被る程度で良い
- ウメガサソウ⇒もともとの丘陵地が斜面として残っていて、そこに自生している

(4) 川べり東屋付近

- 笹を刈ると、植物が生えてくる。秋・冬に刈っておくと良い。
- 太い樹だけだと寂しいので、中低木も残すと良い
- オカトラノオは増えすぎることもあるので、様子を見る
- スズ病(上の高い樹にアブラムシがいると、フンが落ちてくる)コナラが原因？
- アカシデ⇒紅葉、芽吹きが美しい
- クマヤナギ⇒つるがごちゃごちゃで凄いのので、取った方が良い
- 種から繁殖したクルマユリは、いずれ林の中に植えると良い。

(5) 中央街区下

- フデリンドウ⇒2年草で一回咲くと終わり。

③活動へのアドバイス

- 「桂島緑地未来プロジェクト」と似たようなボランティア活動をしている公園、似たような環境の公園（水の森公園、真美沢公園）
- 可能な範囲で全体の植物季節の記録を取る。（例：定期的に月2回）
初めは誰でも同定できる植物から観察を始めていくと良い。
または、分担制にしても良い。囲いの中は観察がしやすいので、本数や推移、手入れの仕方の記録をとるのに適している。
- 桂町内で観察をできる作業人数を増やすために、桂町内向けに活動を広報すると良い。（回覧、ホームページ、案内掲示板の活用）